

## 1 避難地域の医療提供体制の再構築

### (1) 再開医療機関等の経営安定化

#### 【現状・課題】

- 避難地域内の居住者数は震災前と比較して依然少ない状況
- 人件費が高騰しており、医業コストが増大
- 再開医療機関等の約 7 割が人件費・運営費への支援を受け稼働
- 平成 29 年 4 月以降、医療機関の再開・開設のペースは鈍化

#### 【避難地域等医療復興計画（今後の方向性）要旨】

- 福島相双復興推進機構等、関係機関と連携して、再開医療機関等の経営安定化を支援
- 引き続き、再開医療機関等の運営を財政面から支援

### (2) 地域に必要な医療等の確保

#### 【現状・課題】

- 避難指示解除された全市町村で内科等、基本的な診療科が稼働
- 二次医療機関である「ふたば医療センター附属病院」が開院
- 避難地域内の居住者に占める高齢者の割合が高く、今後、在宅医療、リハビリ等のニーズが高まっていくことが想定

#### 【避難地域等医療復興計画（今後の方向性）要旨】

- 復興・帰還の進捗に応じて「薬局」「歯科診療所」のニーズが高まるなど、確保すべき「地域に必要な医療等」も変化
- 「地域に必要な医療等」の確保に向け、市町村を含め関係機関が連携し、支援を行うことが必要

## 2 近隣地域の医療提供体制の充実

#### 【現状・課題】

- 双葉地域に居住する透析患者は約 40 名（いわき地域への送迎支援を 18 名が活用（経済産業省補助金））
- 復興公営住宅がいわき市に 1,672 戸、南相馬市に 927 戸整備されるなど、避難地域から数多くの住民が避難

#### 【避難地域等医療復興計画（今後の方向性）要旨】

- 避難地域内での再開が見込めない専門医療等を充実
- 双葉郡立診療所の運営費を支援するなど、復興住宅等に避難している住民による医療需要に引き続き対応
- 二次・三次救急医療機関の機能強化に結びつく、設備整備等について検討

## 3 原子力災害により不足した医療従事者の確保

#### 【現状・課題】

- 避難地域を含む浜通り地方では医療人材の不足が未だ深刻な状況

※詳細は資料 5 で説明

#### 【避難地域等医療復興計画（今後の方向性）要旨】

- 医療機関の再開等に際しては、専門職である医療人材の育成、資質向上、確保定着を図ることが必要
- 県内全域で避難指示等区域の復興及び住民帰還の加速を支える医療人材の養成、資質向上、確保定着に継続的かつ長期的に取り組んでいくことが必要